

東京混声合唱団

第233回定期演奏会

TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

2014年3月19日(水) 19:00 開演(18:30 開場)

東京文化会館小ホール

指揮 田中信昭 Conductor : TANAKA Nobuaki

ピアノ 中嶋 香 Piano: NAKAJIMA Kaori



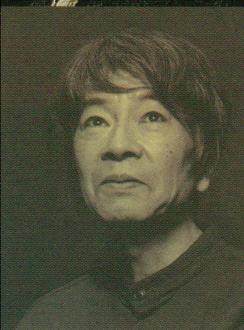
■柴田 南雄 作曲

SHIBATA Minao (1916-1996)

北原白秋：詩

三つの無伴奏混声合唱曲 (1948)

I. 水上 詩集「海豹と雲」より II. 早春 詩集「海豹と雲」より III. 風 詩集「水墨集」より



■三善 晃 作曲—追悼—

MIYOSHI Akira (1933-2013)

高田敏子：詩

混声合唱組曲 五つの童画 (1968)

I. 風見鳥 II. ほら貝の笛 III. やじろべえ IV. 砂時計 V. どんぐりのコマ



■佐藤 智明 作曲

SATOH Somei (1947-)

海 Sea for acapella chorus (2006)



■西村 朗 作曲

NISHIMURA Akira (1953-)

北原白秋：詩

混声合唱とピアノのための

邪宗門秘曲 (2013)

半世紀の合唱の流れ

主催 一般財団法人合唱音楽振興会 Association for Promoting Choral Music

助成 公益財団法人 NOMURA 野村財团

入場料(税込み・全自由席) 一般券 4,000円 学生券 2,000円

【前売り・問い合わせ】

東京混声合唱団事務局 Tel 160-0005 新宿区愛住町23番地 ベルックス新宿ビルⅡ 6F

Tel 03(3226)9755 FAX 03(3226)9882 http://toukon1956.com

チケットぴあ Tel 0570(02)9999 (Pコード 216-925) CN プレイガイド Tel 0570(08)9990

ローソンチケット Tel 0570(000)407 (Lコード 38524) 東京文化会館チケットサービス Tel 03(5685)0650

東京コンサーツ http://www.tokyo-concerts.co.jp/

(東京コンサーツ HP で予約をして、セブンイレブンで支払い、受け取りができます。)



■田中 信昭 TANAKA Nobuaki(指揮)

1956年東京藝術大学を卒業と同時に声楽科有志と東京混声合唱団を創立、常任指揮者に就任。今日まで、作曲家と協力して新しい日本の合唱音楽の創造に力を尽くし、450曲に及ぶ現代合唱曲を初演している。1997年東京混声合唱団桂冠指揮者の称号を贈られる。

オーケストラ公演の合唱指揮やオペラの指揮も数多く務めている。

毎日芸術賞、勲四等瑞宝章、朝日現代音楽賞、エクソンモービル音楽賞を受賞。

東京藝術大学講師、桐朋学園大学客員教授を歴任。

現在、東京混声合唱団音楽監督・理事長、国立音楽大学招聘教授

東京混声合唱団第233回定期演奏会

TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

■中嶋 香 NAKAJIMA Kaori(ピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。現代作品をレパートリーとして演奏活動を展開している。87年に始めた東京でのリサイタルは35回を数え、2006年はボローニャで、2007年にはクレモナでもリサイタルを行う。89年から作品の委嘱活動を続け、内外の作曲家への委嘱作品が、これまでに40作品に及ぶ。間宮芳生や権代敦彦のピアノ作品を収録したCDをリリースしている。東京混声合唱団をはじめとする全国各地の合唱団とも共演を重ねている。演奏活動以外にも「新しいうたを創る会」や「創る会」のプロデュースを手がけている。2004年、第22回中島健蔵音楽賞受賞。

<http://www1.odn.ne.jp/~chl68390/>

■柴田 南雄 SHIBATA Minao(作曲)

1916年東京生まれ。東京帝国大学理学部植物学科、同文部美学美術学科卒業。第二次大戦後、活発な作曲活動のかたわら、桐朋学園、お茶の水女子大学、東京芸術大学、放送大学、尚美音楽短期大学などで教鞭をとる。放送、新聞、音楽ジャーナリズムで、洋の東西を問わぬ洞察に満ち、知的刺激にあふれた旺盛な評論活動を展開。1992年、文化功労者。1996年2月2日永眠。享年79歳。勲二等瑞宝章が遺贈された。

作品…「コンソート・オブ・オーケストラ」（尾高賞）「追分節考」「萬歳流し」交響曲「ゆく河の流れは絶えずして」「宇宙について」「無限曠野」（遺作）他多数

著書…「音楽にしひがし」「わが音楽、わが人生」など。

賞……1973年第22回尾高賞／1982年第13回サンタリー音楽賞、紫綬褒章／1994年第32回藤村記念歴程賞

■三善 晃 MIYOSHI Akira(作曲)

1933年東京生まれ。幼少の頃から自由学園の音楽教室でピアノを学び、小学校に入った頃から平井康三郎に師事。51年東京大学文学部仏文科入学。53年第22回日本音楽コンクール作曲部門第1位、54年〈ピアノと管弦楽のための協奏交響曲〉が第3回尾高賞、文化庁芸術祭奨励賞を受賞し注目される。55年パリ音楽院留学、アンリ・シャラン、レイモン・ガロワ・モンプランに師事。アンリ・デュティユーの影響も受ける。57年帰国、東京大学に復学、卒業。以後毎年のように話題の大作を発表しており、管弦楽、室内楽はもとより歌曲、特に合唱作品に優れた作品を生み出している。99年2月、初のオペラ「遠い帆」初演。63年から桐朋学園大学で後進の指導74～95年まで桐朋学園大学学長を務めた。99年12月芸術院会員。2001年11月文化功労者。2013年10月4日永眠。享年80歳。

■佐藤 聰明 SATOH Somei(作曲)

1947年仙台出身、作曲を独学。1960年代末よりマルチ・メディア作品を発表し始める。佐藤の作品はアメリカを中心に、ヨーロッパ、環太平洋諸国で幅広く演奏されており、ことにアメリカでは15回にわたって個展（作品演奏会）が催されている。またユーディー・メニューイン、ヒラリー・ハーン、アン・アキコ・マイヤーズ、高橋アキ、クロノス・カルテット、バング・オン・ア・キャン・オールスター、ニューヨーク・フィルハーモニーなど、世界の著名な演奏家、アンサンブル、オーケストラおよび芸術基金から多数の委嘱を受けている。ダーティングトン国際音楽祭（2009、イギリス）、チャーチル音楽祭（2012、ニューヨーク）のテーマ作曲家。CD作品集には「夜へ（Toward the Night）」FOCD-316、New Albion56、「季節」CM-28032、「太陽讃歌」ALM/ALCD11など多数。著書に「耳を拓く」（春秋社）がある。

■西村 朗 NISHIMURA Akira(作曲)

大阪市生まれ。東京芸術大学、同大学院修了。西洋の現代作曲技法を学ぶ一方で、在学中よりアジアの伝統音楽、宗教、美学、宇宙観等に強い関心を抱き、そこから導いたヘテロフォニーなどのコンセプトにより、多数の作品を発表。日本音楽コンクール第1位(74)、エリザベート国際音楽コンクール大賞(77)、ルイジ・ダルレッラピッコラ作曲賞(77)、尾高賞(88・92・93・08)、中島健蔵音楽賞(90)、京都音楽賞〔実践部門賞〕(91)、日本現代芸術振興賞(94)、サントリーミュージック・ベンカラーブ音楽賞(04)等を受賞。他に芸術祭大賞、芸術祭優秀賞。2000年より「いずみシンフォニエッタ大阪」音楽監督。海外からもアルディッティ弦楽四重奏団など多くの新作の委嘱を受けている。現在、東京音楽大学教授の他、2000年よりいずみシンフォニエッタ大阪音楽監修、2010年より草津夏期国際音楽祭音楽監督。2013年紫綬褒章受章。